

星つむぎの村 本の森だより No.18



星つむぎの村は、「星を介して人と人をつなぎ、ともに幸せを作ろう」をミッションに
プラネタリウム、星空観望会、星や宇宙に関するワークショップなどを展開している団体です。

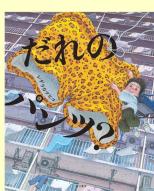
★ぼく・わたしの絵本

「きみはどこからやってきた？」 宇宙誕生からはじまるいのちのものがたり
フィリップ・バンディング:作 ないとうふみこ:訳 北山太樹:監修 KADOKAWA



わたしはどこから来たの？誰もが一度は考える疑問に、カラフルな絵とユーモアで答えてくれます。138億年前、宇宙の始まりから「きみ」につながるながい、いのちの物語です。

「だれのパンツ？」 シゲリカツヒコ:作 KADOKAWA



公園で遊んでいると、ひょう柄の特大パンツがふってきました。男の子は近くの団地をかけ回って持ち主をさがしますが住人は変な人や動物、なんと幽霊まで。最後にわかった持ち主は！？

★ティーンエイジの君へ

「すばらしいとき」 ロバート・マックロスキー:文・絵
わたなべしげお:訳 福音館書店



アメリカの小さな島で豊かなひと夏を過ごした家族のお話です。シダの枯れ葉が育つ音、イルカが跳ねる海、夜はボートの上の星空。ページをめくるたび、心はワクワクします。お薦め中のおすすめ！

「どんな小さなものでもみつめている
宇宙につながっている -詩人まどみちお100歳の言葉-」
まどみちお:著 新潮社



「この世のものはそこにあるだけで尊いもの」と100歳のまどさんは言います。深く、優しい眼差しが紡ぐ言葉は、じわーっと溶けて心の奥深いところに沈んでいきます。

★トピックス。。。

七夕は7月7日ですが、昔のカレンダー(旧暦)では、今年は8月22日が七夕です。実際の空でも、おりひめ星(ベガ)とひこ星(アルタイル)は、8月のほうが空高いところに昇ります。頭の上に白く明るく輝くのがおりひめ星。南を向きながら目線を落としたところにひこ星。そして、2人を結ぶように、はくちょう座が羽を広げています。そこには、星が無数に集まる天の川。天井の向こうの星空の世界、どうぞ想像してみてください。

次号の発行は10月1日です。

星つむぎの村の活動はホームページやYouTubeでもご覧いただけます。

・星つむぎの村HP <https://hoshitsumugi.org/>

★パパ・ママの本

「ことばのかたち」 おーなり由子:作 講談社



ことばが運んでいくものは、辞書に載ってる意味だけじゃない。受け取るものは用件だけじゃない。わたしからあなたに届いていくことばに、色や形があったとしたら？ゆっくり読みたい一冊です。

「ヒロシマ 消えたかぞく」

指田 和:著 鈴木 六郎:写真 ポプラ社
笑い声が聞こえるような家族写真の絵本。「すべてをうばいさった、あの原爆。このかぞくが生きたあかしを消すことまでは、決してできません。」命や普段の暮らしが愛おしくなる一冊です。

★みんな・みんな生きている！

「こおりのなみだ」 ジャッキー・モリス:作 井上晶子:訳 岩崎書店



クマ、人間、ワタリガラス、キツネ、雪、こおり。すべてのものにいのちとたましいがあります。オーロラやカリブーの星座が輝く空の下、クマと人間のあいだで生きることを決めた子どもの素敵なお話です。

「稻と日本人」 甲斐信枝:作 佐藤洋一郎:監修 福音館書店



稻作で日本史をたどる。それは数々の大きな自然災害、想像を絶する飢饉との戦いでもありました。山を削り水を引き、品種改良、機械化…百姓たちは稻と一緒にこれまで生き抜いてきたのです。



YouTube
QRコード

星つむぎの村の様々な活動

フライングプラネタリウムや

コンサートなど、

YouTube配信も

ご覧ください。



編集・発行

一般社団法人 星つむぎの村

〒409-1502

山梨県北杜市大泉町谷戸6587-2

☎ 0551-88-9027

✉ book@hoshitsumugi.org

HP <https://hoshitsumugi.org/>

